

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
衛生管理		美容学科(昼間課程)／1年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	1単位(40時間)	必須	大栗 直樹
授 業 の 概 要				
・美容師として必要な公衆衛生、環境衛生、感染症に関する正しい知識を身につける ・美容師国家試験合格を目指し、学習内容を反復演習する				
授業終了時の到達目標				
・美容師国家試験合格レベルの知識習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有	美容師として8年間美容室に勤務 美容師の経験を生かし実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
前回授業の確認テストを準備し、次回の内容に沿った予習を行う				
回	テ ー マ		内 容	
1	公衆衛生の概要		・公衆衛生の意義と課題	
2	公衆衛生の概要		・公衆衛生発展の歴史 ・理容師、美容師と公衆衛生	
3	公衆衛生の概要		・保健所と理容業、美容業	
4	保健		・母子保健	
5	保健		・成人、高齢者保健	
6	保健		・精神保健	
7	環境衛生		・環境衛生の概要	
8	環境衛生		・空気環境	
9	環境衛生		・衣服、住居の衛生	
10	前期復習 前期期末試験		・前期期末試験対策(復習) ・前期期末試験	
11	環境衛生		・上、下水道と廃棄物	
12	環境衛生		・衛生害虫とネズミ	
13	環境衛生		・環境保全	
14	感染症の総論		・人と感染症(歴史、法律、分類)	

回	テ ー マ	内 容		
15	感染症の総論	・ 病原微生物(種類、形と大きさ)		
16	感染症の総論	・ 病原微生物(構造、増殖と環境への影響)		
17	感染症の総論	・ 感染症の予防(病原性と感受性、汚染、感染、発病)		
18	感染症の総論	・ 感染症の予防(常在細菌叢、免疫と予防接種)		
19	感染症の総論	・ 感染症の予防(感染症発生の要因、感染症予防の3原則)		
20	後期復習 後期期末試験	・ 後期期末試験対策(復習) ・ 後期期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ 衛生管理 ・ 配布プリント		確認テスト 期末試験 出席率	60.0% 30.0% 10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
保健		美容学科(昼間課程)／1年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	1単位(40時間)	必須	松本 正義
授 業 の 概 要				
・美容師と健康、公衆衛生との関係を理解する ・美容師に求められる人体の構造と機能を理解する				
授業終了時の到達目標				
・保健を学ぶ意味がわかる ・人体の構造と機能が、系統的に理解できる ・美容師国家試験合格レベルの知識習得				
実務経験有無	実務経験内容			
有	看護師、臨床工学技士として臨床経験を約25年従事 これまでの経験を生かし実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
授業後の確認テストを準備回の内容に沿って、次々予習を行う				
回	テ ー マ		内 容	
1	頭部、顔部、頸部の体表解剖学-1 確認テスト前1-1		・健康と美容師美容師 ・公衆衛生と美容師美容師 ・人体各部の名称	
2	頭部、顔部、頸部の体表解剖学-2 確認テスト前1-2		・頭頂部の体表解剖学	
3	骨格器系-1 確認テスト前1-3		・骨の種類と構造 ・骨の連結	
4	骨格器系-2 確認テスト前1-4		・骨格器系とそのはたらき	
5	筋系 確認テスト前1-5		・筋の種類と特徴 ・主な骨格筋とそのはたらき ・表情筋と表情運動	
6	神経系 確認テスト前1-6		・神経系の成り立ち ・中枢神経系とそのはたらき ・末梢神経系とそのはたらき	
7	感覚器系-1 確認テスト前1-7		・視覚 ・聴覚	
8	感覚器系-2 確認テスト前1-8		・平衡感覚 ・味覚	
9	感覚器系-3 確認テスト前1-9		・嗅覚 ・皮膚感覚	
10	前期期末試験		・前期期末試験 ・前期学習項目の復習とポイント整理	
11	血液と免疫系 確認テスト後1-1		・血液のあらまし ・免疫のあらまし ・アレルギー	
12	循環器系 確認テスト後1-2		・心臓のあらまし ・血液循環のしくみ ・血液の循環経路 ・リンパ管系の仕組みとはたらき	
13	呼吸器系 確認テスト後1-3		・呼吸系のあらまし ・気道 ・肺のしくみとガス交換 ・呼吸運動	
14	消化器系 確認テスト後1-4		・消化器系のあらまし ・消化管のしくみ ・消化管のはたらき ・消化管と物質代謝	

回	テ ー マ	内 容		
15	皮膚科学 第1章 皮膚の構造-1 確認テスト後1-5	・ 皮膚の表面 ・ 皮膚の断面 ・ 表皮 ・ 表皮と真皮の境		
16	皮膚の構造-2 確認テスト後1-6	・ 真皮 ・ 皮下組織と皮下脂肪 ・ 皮膚の部位差		
17	皮膚付属器官の構造-1 確認テスト後1-7	・ 毛 ・ 脂腺(皮脂腺)		
18	皮膚付属器官の構造-2 確認テスト後1-8	・ 汗腺 ・ 爪		
19	皮膚の循環器系と神経系 確認テスト後1-9	・ 皮膚の血管 ・ 皮膚のリンパ管 ・ 皮膚の神経		
20	後期期末試験	・ 後期期末試験 ・ 後期学習項目の復習とポイント整理		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ テキスト「保健」 ・ 確認テスト(授業後CRにて配布・採点) ・ 200問問題(授業時紹介、2年次配布) ・ workbook(授業時紹介、2年次配布)		期末試験 確認テスト 出席率	50.0% 40.0% 10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
香粧品化学		美容学科(昼間課程)／1年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	三谷 祐佳里
授 業 の 概 要				
・美容師の業務を行う上での必要な香粧品化学の基礎知識について学習する ・香粧品化学が美容技術における基盤となることを理解する				
授業終了時の到達目標				
・美容の業務に必要な香粧品化学の基礎知識の習得 ・美容師国家試験合格レベルの知識習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有	美容師として14年間美容室に勤務 美容師の経験を生かし実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
前回授業の確認テストを準備し、次回の内容に沿った予習を行う				
回	テ ー マ		内 容	
1	香粧品総論、香粧品を使用する際に気をつけること		・香粧品とは ・香粧品の使用によるトラブル	
2	香粧品を使用する際に気をつけること		・香粧品の定義と法規制	
3	香粧品を使用する際に気をつけること		・香粧品の安全性と安定性	
4	香粧品の成り立ち		・香粧品の成り立ち ・水と親水性溶媒	
5	香粧品の成り立ち		・油性原料 ・界面活性剤	
6	香粧品の成り立ち		・高分子化合物 ・色材	
7	香粧品の成り立ち 前期復習		・香料 ・前期期末試験対策	
8	前期期末試験		・前期期末試験	
9	香粧品の成り立ち		・製品を安定させる配合原料 ・その他の機能性配合原料	
10	香粧品の成り立ち 香粧品各論		・雑貨原料 ・香粧品の効果と使用プロセス	
11	スキンケア製品		・クレンジング用香粧品	
12	スキンケア製品		・コンディショニング用香粧品	
13	スキンケア製品		・トリートメント用香粧品	
14	後期復習		・後期期末試験対策(復習)	

回	テ ー マ	内 容		
15	後期期末試験 後期期末試験解答解説	・ 後期期末試験 ・ 後期期末試験解答解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ 香粧品化学 ・ 配布プリント		確認テスト 期末試験 出席率	60.0% 30.0% 10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
文化論		美容学科(昼間課程)／1年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	田中 真由子
授 業 の 概 要				
・日本の文化史と世界の文化史を学び、美容師に必要な知識を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
・ヘアスタイルが独立して存在するのではなく服装等とのトータルバランスが不可欠であり時代の波の中でどのように変換して来たかを学ぶことで時代とファッションのかかわりを知る ・ファッションの造形、色彩の原理などを学び感性を高め来るべき時代の要請にこたえられるデザイナーになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有	美容師として5年間美容室に勤務 美容師の経験を生かし実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
国家試験課題を理解するために、習った内容に沿って予習しておく				
回	テ ー マ		内 容	
1	総論 日本の美容業の歴史		・総論 ・理容業・美容業の登場	
2	日本の美容業の歴史、確認テスト ファッション文化史 日本編		・江戸時代の理容業・美容業・近代の理容業・美容業 ・現代の理容業美容業・縄文・弥生・古墳時代	
3	ファッション文化史 日本編		・中世(平安時代末期・鎌倉・室町・戦国時代)・近世(戦国時代末期・安土桃山時代)・近世(江戸時代)	
4	ファッション文化史 日本編		・中世(平安時代末期・鎌倉・室町・戦国時代)・近世(戦国時代末期・安土桃山時代)・近世(江戸時代)	
5	ファッション文化史 日本編		・近代(明治時代)	
6	ファッション文化史 日本編		・近代(明治時代)	
7	ファッション文化史 日本編 確認テスト		・確認テスト解答解説	
8	前期期末試験		・前期期末試 ・解答解説	
9	ファッション文化史 日本編		・近代・現代(1960年代～1970年代)	
10	ファッション文化史 日本編		・近代・現代(1980年代～1990年代)	
11	ファッション文化史 日本編		・近代・現代(2000年代～2010年代)	
12	確認テスト ファッション文化史 日本編		・近代・現代のまとめ	
13	ファッション文化史 西洋編		・古代エジプト・古代ギリシャ・ローマ ・古代ゲルマン・中世ヨーロッパ・近世(16世紀)	
14	ファッション文化史 西洋編		・近世(17世紀)・近世(18世紀)・近代(18世紀末～19世紀初め)・近代(19世紀)	

回	テ ー マ	内 容		
15	後期期末試験	・ 後期期末試験 ・ 解答解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
文化論		期末試験 確認テスト 出席率	50.0% 40.0% 10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
美容技術理論		美容学科(昼間課程)／1年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	三谷 祐佳里
授 業 の 概 要				
・美容師として必要な基礎知識を身につける ・美容師国家試験合格を目指し、学習内容を反復演習する				
授業終了時の到達目標				
・美容師国家試験合格レベルの知識習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有	美容師として14年間美容室に勤務 美容師の経験を生かし実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
前回授業の確認テストに向け準備し、次回の内容に沿った予習を行う				
回	テ ー マ		内 容	
1	授業概要 美容技術理論を学ぶにあたって		・1年次で学習する授業の概要説明 ・美容理論と美容技術	
2	美容技術理論を学ぶにあたって		・美容技術における作業姿勢 ・美容技術に必要な人体各部の名称	
3	美容用具		・美容技術における用具 ・コーム・ブラシ・シザーズ	
4	美容用具		・レザー ・ピン類、ヘアクリップ ・ロッド ・ローラー	
5	美容用具		・ヘアアイロン ・ヘアドライヤー ・ヘアスチーマー ・遠赤外線機	
6	確認テスト シャンプーイング		・確認テスト ・シャンプーイング総論 ・サイドシャンプー	
7	シャンプーイング		・バックシャンプー ・リンス・コンディショナー・トリートメント	
8	シャンプーイング		・スカルプトリートメント ・ヘッドスパ	
9～10	確認テスト ヘアデザイン		・確認テスト ・美容とデザイン	
11	ヘアカッティング		・ヘアカッティングとは ・シザーとレザーの扱い方 ・美容刃物	
12	ヘアカッティング		・ヘアカッティングの正しい姿勢 ・ブロッキング	
13	ヘアカッティング		・ヘアカッティングの基礎理論 ・ベーシックなカット技法	
14	ヘアカッティング		・シザーによるカット技法 ・レザーによるカット技法	
15	確認テスト 前期復習		・確認テスト ・前期期末試験対策(復習)	

回	テ　　マ	内　　　　容		
16	前期期末試験	・ 前期期末試験		
17	パーマネントウェービング	・ パーマネントウェーブの理論　・ パーマ剤の分類		
18	パーマネントウェービング	・ パーマ剤に関する注意事項 ・ パーマネントウェーブ技術		
19	パーマネントウェービング	・ 縮毛矯正		
20	確認テスト ヘアセッティング	・ 確認テスト ・ ヘアセッティングとは　・ ヘアパーティング		
21	ヘアセッティング	・ ヘアシェーピング ・ ヘアカーリング		
22	ヘアセッティング	・ ヘアウェービング ・ ローラーカーリング		
23	ヘアセッティング	・ ブロードライ ・ アイロンセッティング		
24	ヘアセッティング	・ バックコーミング　・ アップスタイル ・ ウイッグとヘアピース・ヘアセッティングの応用		
25	確認テスト ヘアカラーリング	・ 確認テスト ・ ヘアカラーリング概論　・ ヘアカラーの種類と特徴		
26	ヘアカラーリング	・ 染毛のメカニズム ・ 色の基本　・ 毛髪のレベルとアンダートーン		
27	ヘアカラーリング	・ パッチテスト ・ 酸化染毛剤の技術手順		
28	ヘアカラーリング	・ 酸性染毛料の技術手順		
29	後期復習	・ 後期期末試験対策（復習）		
30	後期期末試験	・ 後期期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ 美容技術理論1 ・ 配布プリント		確認テスト 期末試験 出席率	60.0% 30.0% 10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
美容実習		美容学科(昼間課程)／1年	2025／通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	205回	13単位(410時間)	必須	三谷 祐佳里
授 業 の 概 要				
・美容師国家試験に向けての技術と理論を学習する ・美容技術の基本であるワインディング(オールパーパス)を学ぶ ・国家試験課題第二課題のオールウェーブセッティングを学ぶ				
授業終了時の到達目標				
・学内コンテスト上位入賞 ・外部コンテスト上位入賞 ・美容師国家試験合格に向けたの技術習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有	美容師として14年間美容室に勤務 美容師の経験を生かし実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
国家試験課題を理解するために、習った技術を内容に沿って予習しておく				
回	テ ー マ		内 容	
1	美容技術の概要		・動機づけ ・用具の名称と使用方法	
2	ヘアカッティング		・シザーの開閉 ・ブロッキング	
3～4	ヘアカッティング		・ワンレングスカット	
5～6	ヘアカッティング		・セイムレングスカット	
7	ワインディング		・ブロッキング	
8～13	ヘアカッティング		・ワインディングウィッグのカット	
14～18	ワインディング		・ロッドの巻き方 ・配列を理解する	
19～22	就活Egg(大阪)		・就職活動意識付け	
23～25	ワインディング		・ブロッキング ・配列を理解する	
26～31	ワインディング		・正確な配列で全頭を巻く ・指定タイム内に仕上がるようにする	
32～33	ワインディング(公開授業)		・正確な配列で全頭を巻く ・高校生にワインディングを教える	
34～38	ワインディング		・正確な配列で全頭を巻く ・指定タイム内に仕上がるようにする	
39～41	特別授業①(IMS研修)		・美容師としての将来像を考える	
42～66	ワインディング		・正確な配列で全頭を巻く ・指定タイム内に仕上がるようにする	

回	テ ー マ	内 容
67～ 74	ワインディング	・ 正確な配列で全頭を巻く ・ 指定タイム内に仕上がるようにする
75	確認テスト	・ ワインディング技術の確認
76～ 78	オールウエーブセッティング	・ オールウエーブセッティング用ウィッグの作成(カット)
79～ 81	オールウエーブセッティング	・ オールウエーブセッティング用ウィッグの作成(パーマ)
82～ 83	オールウエーブセッティング	・ オールウエーブセッティング用ウィッグの作成(テーパー)
84～ 87	ワインディング	・ 前期期末実技試験上位入賞に向けての技術確認
88～ 93	前期期末試験(穴吹コンテスト)	・ ワインディング実技試験
94～ 95	穴吹コンテスト振り返り	・ (前期)穴吹コンテストフィードバック
96～ 102	オールウエーブセッティング	・ オールウエーブセッティング(フィンガーウェーブ7段構成)の課題を理解する
103 ～ 113	オールウエーブセッティング ワインディング	・ オールウエーブセッティングの課題を理解する ・ タイム内で作品の完成度を上げる
114 ～ 116	特別授業②(IMS研修)	・ 美容師としての将来像を考える
117 ～ 121	オールウエーブセッティング ワインディング	・ オールウエーブセッティングの課題を理解する ・ タイム内で作品の完成度を上げる
122 ～ 123	特別授業③(特殊メイク)	・ 傷メイクをプロから学ぶ
124 ～ 125	サロンワーク体験	・ 2年生からシャンプー&ブローの施術を受ける
126 ～ 137	オールウエーブセッティング ワインディング	・ オールウエーブセッティングの課題を理解する ・ タイム内で作品の完成度を上げる
138 ～ 139	まつ毛エクステンション	・ 事前準備 ・ テーブルセッティング ・ かき分けとJカール装着練習 ・ かき分けとCカール装着練習
140 ～ 145	オールウエーブセッティング ワインディング	・ オールウエーブセッティングの課題を理解する ・ タイム内で作品の完成度を上げる
146 ～ 147	まつ毛エクステンション	・ エクステンションの装着 ・ まつ毛エクステンションのリムービング ・ テーピング
148 ～ 150	オールウエーブセッティング ワインディング	・ オールウエーブセッティングの課題を理解する ・ タイム内で作品の完成度を上げる
151	まつ毛エクステンション	・ 事前準備 ・ テーピング、リムービング、装着
152 ～ 153	オールウエーブセッティング ワインディング	・ オールウエーブセッティングの課題を理解する ・ タイム内で作品の完成度を上げる
154	確認テスト	・ オールウエーブ技術の確認
155 ～ 158	特別授業④	・ ワインディング1000本巻
159 ～ 185	ワインディング オールウエーブセッティング	・ 後期期末実技試験上位入賞に向けての技術確認 ・ タイム計測

回	テ ー マ	内 容		
186 ～ 191	後期期末試験(穴吹コンテスト)	・ワインディング実技試験 ・オールウェーブ実技試験		
192 ～ 193	穴吹コンテスト振り返り	・(後期)穴吹コンテストフィードバック		
194 ～ 199	就職活動準備	・就職活動準備(履歴書、求職票、自己PR作成)		
200 ～ 201	実務実習周知会	・実務実習周知会の実施		
202 ～ 205	実務実習報告会	・実務実習報告会の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・美容技術理論1 ・美容実習1		確認テスト 期末試験 出席率	60.0% 30.0% 10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
サロン実務		美容学科(昼間課程)／1年	2025／通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	三谷 祐佳里
授 業 の 概 要				
・サロンワークに必要な基礎技術や接客マナーを学習する				
授業終了時の到達目標				
・サロンワークに必要な基礎技術や接客マナーを習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有	美容師として14年間美容室に勤務 美容師の経験を生かし実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
サロンワークに必要な技術を理解するために、習った技術を内容に沿って予習しておく				
回	テ ー マ		内 容	
1～ 2	サロンワークについて シャンプーイングの基礎知識		・サロンワークの基礎知識 ・サイドシャンプー技術	
3～ 8	シャンプーイング		・サイドシャンプー ・ヘアドライイング	
9～ 11	シャンプーイング スタイリング		・サイドシャンプー、バックシャンプー ・スタイリングテクニック	
12～ 15	特別授業 プロによるサロンワーク講習		・シャンプー特別授業	
16	サロンワーク実習の概要		・サロンワーク実習の概要説明	
17～ 20	サロンワーク実習に向けて		・基本手技、接客練習	
21～ 22	サロンワーク最終確認		・技術の見直し ・接客の立ち振る舞いの確認	
23～ 30	サロンワーク実習(模擬サロン運営)		・モデルによるサロン運営 ・接客を通してサービスを学ぶ	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・美容実習1 ・配布プリント		実習・実技評価 課題・レポート 出席率	60.0% 30.0% 10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
メイク		美容学科(昼間課程)／1年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	阿部 友美
授 業 の 概 要				
・スキンケア、メイクアップの基礎知識と基本技術を学習する ・イメージに合わせたメイクアップ技術と知識を学習する				
授業終了時の到達目標				
・サロンワークにおいてお客様の求めるスキンケア技術、メイクアップ技術ができる ・UTOWAメイクアップ技術検定合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有	美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員の経験を生かし実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
・UTOWAメイクアップ技術検定に向けて実務内容の振り返りを行う				
回	テ ー マ		内 容	
1	メイクアップ、メイクアップツールについて、メイクアップ概論		・メイクアップツールの名称、使用方法、お手入れ方法・顔のプロポーション、印象、目の錯覚効果	
2～6	スキンケア実習		・スキンケアの基本知識 ・スキンケア実技・スキンケア実技確認テスト	
7～10	ベースメイク実習 ポイントメイク実習		・ベースメイク実技・ポイントメイク実技 ・ベースメイク～ポイントメイク実技確認テスト	
11～14	ベーシックメイク実習		・ベーシックメイクトータルメイクアップ実技 ・ベーシックメイク確認テスト	
15～22	UTOWAメイクアップ技術検定対策		・ナチュラルメイク実技・キュートメイク実技・クールメイク実技	
23～24	前期期末実技試験確認テスト		・UTOWAメイクアップ技術検定確認テスト(スキンケア)	
25～26	UTOWAメイクアップ技術検定(期末試験)		・授業内検定試験実施(スキンケア)	
27～28	前期期末実技試験確認テスト		・UTOWAメイクアップ技術検定確認テスト(メイクアップ)	
29～30	UTOWAメイクアップ技術検定(期末試験)		・授業内検定試験実施(メイクアップ)	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・UTOWA PROFESSIONAL		確認テスト 期末試験 出席率 課題・レポート	50.0% 30.0% 10.0% 10.0%	期末試験：検定における採点を反映させるものとする 皮膚に直接触れるもの(アルコール等)については使用

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ネイル		美容学科(昼間課程)／1年	2025／通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	岑永 朱理
授 業 の 概 要				
・ネイルについての基礎知識を学習する ・ネイリスト技能検定3級技合格に向けた技術の習得				
授業終了時の到達目標				
・ネイルケアやアートに関する基本的な技術と知識を習得 ・ネイリスト技能検定3級合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ネイリストとして10年間ネイルサロンに勤務。実務に沿った教育を行う。		
時間外に必要な学修				
・ネイリスト技能検定3級合格に向けて筆記試験問題の復習				
回	テ ー マ		内 容	
1～2	ネイル基礎理論		・教材の確認と使用方法の説明 ・検定試験について ・ネイルの歴史、ネイル技術体系、爪の構造と働き	
3～4	ネイル基礎理論		・ネイルのための皮膚科学 ・爪や皮膚の病気とトラブル・小テスト①	
5～6	ネイル基礎理論		・化粧品学、色彩理論 ・ネイルケアの基本手順	
7～8	ネイル基礎理論		・カットスタイル別ファイリング ・プロフェッショナリズム ・イルカウンセリング ・ネイルサロン環境 など	
9～10	ネイルケアカラー実習		・ネイルケア実習(ファイリング・プッシャー・ニッパ)	
11	アクリルガッシュを使ったネイルアート		フラットアート(花)	
12～16	ネイルケアカラー実習		・ネイルカラー実習 ・フラットアート(3級検定課題アート：花)・3級検定試験内容での実技対策	
17～18	確認テスト(実技)		・3級検定試験内容での実技確認テスト	
19～28	3級検定試験内容での実技対策		・試験要項の説明 ・検定対策	
29～30	確認テスト		・3級検定試験内容での確認テスト	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・JNAテクニカルシステム		課題・レポート 実習・実技評価 確認テスト 出席率	40.0% 30.0% 20.0% 10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
着付け		美容学科(昼間課程)／1年	2025／通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	選択	田中 真由子
授 業 の 概 要				
・ 着物文化を身近に感じ日本女性の感性、所作、礼儀作法を養う ・ 社会で即戦力になる技術を養う				
授業終了時の到達目標				
・ 山野流着装 初伝資格取得 ・ 山野流着装 中伝資格取得				
実務経験有無		実務経験内容		
有	美容師として5年の実務経験 新しく国家資格となった美容着付師資格を保有し、その技術と知識を生かした教育を行う			
時間外に必要な学修				
着付け手順を理解するために、習った技術を内容に沿って予習しておく				
回	テ ー マ		内 容	
1	下着と小物類		・ 動機付け ・ 使用小物や着物についての説明および使い方	
2	外出着の着付け 着物、着付けの知識		・ 着物および着付けに関して約束事や知識の説明 ・ 基礎知識 ・ 自装着付け ・ 展示	
3	ゆかたの着付け 細帯の帯結び		・ 着物とゆかたの着付けの違い ・ 細帯の結び方	
4～ 6	外出着の着付けと名古屋帯		・ 自装着付け ・ 名古屋帯(お太鼓)の結び方	
7	初伝資格取得試験について説明		・ 準備、着付け、片付けの展示 ・ 確認テスト、資格取得について説明	
8～ 12	初伝資格取得試験対策		・ 着付けタイム20分 ・ 準備、片付け、査定時の作法	
13	確認テスト		・ 「外出着小紋と名古屋帯の一重太鼓」の着付けおよび着付けに必要な準備、片付け(鏡なし)	
14	初伝資格取得試験対策		・ 着付けタイム20分 ・ 準備、片付け、査定時の作法	
15	初伝資格取得試験		・ 「外出着小紋と名古屋帯の一重太鼓」の着付けおよび着付けに必要な準備、片付け(鏡なし)	
16	着物、着付けの知識		・ 着物の格、帯の格、小物の格 ・ 着物知識について	
17～ 18	留袖着付けと帯結び		・ 年代、体型に応じてえり合わせ 帯結び・相モデルにてミセスの第一礼装留袖着付けと袋帯の二重太鼓	
19～ 24	中伝資格取得試験対策		・ 時間内(20分)に着付けできるように実習 ・ 着付け上での作法習得	
25～ 26	中伝資格取得試験対策		・ 時間内にミセスの第一礼装 ・ 「留袖着付けと袋帯の二重太鼓」着付け、作法	
27～ 28	確認テスト		・ 「ミセスの第一礼装留袖着付けと袋帯の二重太鼓」を合モデルにて時間内(20分)着付け	

回	テ　　マ	内　　　容		
29～ 30	中伝資格取得試験 1年間のまとめ	・「ミセスの第一礼装留袖着付けと袋帯の二重太鼓」を合モデルにて時間内(20分)着付け		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・山野流着装教室初伝教本		期末試験 確認テスト 出席率	50.0% 40.0% 10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ヘアアレンジ		美容学科(昼間課程)／1年	2025／通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	選択	大栗 直樹
授 業 の 概 要				
・ヘアアレンジの基礎知識を学習する ・サロンワークに使える実践的な技術を学習する				
授業終了時の到達目標				
・ヘアアレンジの基礎知識、基礎技術の取得 ・和装と洋装のシーン別アレンジスタイルを制作できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有	美容師として8年間美容室に勤務 美容師の経験を生かし実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
サロンワーク実務を理解するために、習った技術を内容に沿って予習しておく				
回	テ ー マ		内 容	
1	使用道具の基礎知識 ヘアアレンジの基礎知識		・道具の名称と役割について ・三つ編み、編み込み	
2～ 3	ヘアアレンジの基礎知識		・三つ編み、四つ編み、ローブ編み、フィッシュボーン ・表編込み、裏編込み	
4～ 5	ドライヤー、ヘアアイロン、ホットカーラーの使用方法		・熱器具の基本的使用方法の理解	
6～ 8	面の出し方		・一束スタイルを制作する	
9～ 13	洋装スタイル制作		・洋装に似合う色々なスタイルを制作する	
14～ 15	技術テストと評価		・期末試験を実施する ・評価と振り返りを行う	
16	基礎技術の振り返り サロンスタイル		・編込み、面出し等の基礎技術を再確認する ・サロンスタイルを学ぶ	
17	サロンスタイル		・サロンスタイルを学ぶ ・ビューティコーディネーター2年生コラボ練習	
18	メンズメイク		・メンズメイク(ビューティコーディネーター2年生コラボ)	
19	人頭洋装ヘアアレンジ作成		・人頭それぞれに似合わせたヘアアレンジをする(ビューティコーディネーター2年生コラボ)	
20～ 28	和装ヘアスタイル作成		・和装に似合うヘアアレンジを決め作成する	
29～ 30	技術テストと評価		・期末試験を実施する ・評価と振り返りを行う	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・編込み入門(新井唯夫) ・はじめてのセット&アップ(新井唯夫)		確認テスト 期末試験 出席率	60.0% 30.0% 10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座		美容学科(昼間課程)／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	猪塚 隆一
授 業 の 概 要				
・美容師としてだけでなく、いち社会人としての心構えと接客マナーを兼ね備えた人材となるため、基本的なマナーを学ぶ ・サービス接客検定3級を取得する				
授業終了時の到達目標				
・社会人としての心構えを持つ ・美容師としての感じのよい接客ができる ・サービス接客検定3級合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		(猪塚)ホテルマンとして7年間県内ホテルに勤務 ホテルマンの経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・授業資料を参考に、次回の予習をしておく				
回	テ ー マ		内 容	
1	動機付け、マナーの必要性、好ましい身だしなみ、感じのよい表情		・目指すのは感じのいいひと ・身だしなみの4要素 笑顔の効果	
2	さわやかな返事 基本的なあいさつ		・指示や命令の受け方 ・基本的なあいさつ(お辞儀の仕方)	
3～ 4	ことばづかい		・敬語(丁寧語、尊敬語、謙譲語) ・実践的な敬語練習問題	
5～ 6	電話対応の基本		・電話の特徴 ・電話の受け方、かけ方(ロールプレイング)	
7～ 8	来客対応		・名刺交換の仕方 案内の仕方 お茶の出し方	
9	贈答のマナー		・贈答の種類とマナー	
10	サービス接客検定対策①		・サービス接客検定解答のポイント	
11～ 13	サービス接客検定対策②		・サービス接客検定過去問題	
14	サービス接客検定対策③ 確認テスト		・サービス接客検定過去問題	
15	サービス接客検定直前対策		・サービス接客検定前対策	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接客検定公式テキスト		課題・レポート 確認テスト 出席率	60.0% 30.0% 10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
実務実習		美容学科(昼間課程)／1年	2025／後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	1単位(48時間)	必須	
授 業 の 概 要				
・美容業の基礎となる挨拶、接客マナーを職場を通して実践し学習する				
授業終了時の到達目標				
・ 職場を知り、仕事を知り、働く人間を理解した上で自らの将来を展望する ・ 職業人として、「働く意味」「やりがい」「規律」「チームワーク」「マナー」を習得する				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1～ 24	職場体験	・ 接客、清掃等様々なサロン内業務を通して職場を知る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価 出席率	60.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
パーソナルカラー		美容学科(昼間課程)／1年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	上杉 康代
授 業 の 概 要				
・美容業界で活用できる色彩知識を学習する				
授業終了時の到達目標				
・パーソナルカラーの基礎知識と色を見分けるポイントを習得 ・色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1合格				
実務経験有無	実務経験内容			
有	商品開発職として通信販売会社に6年勤務 その商品開発職で培った色彩知識を生かし検定合格を目指した教育を行う			
時間外に必要な学修				
・授業内容を復習することに加え配色カード演習や日々、美容やファッションを中心に色彩に興味を持つ				
回	テ ー マ	内 容		
1	パーソナルカラー検定について 色の属性	・パーソナルカラーとは ・色の成り立ち、色の四属性		
2～ 3	色のものさし	・PCCSとは、PCCSの色相環 ・トーンとは・確認テスト		
4	色を見るための条件	・光・物体・目 ・確認テスト		
5	前期期末試験 色彩心理	・前期期末試験 ・色彩の心理効果		
6～ 7	配色法	・基本の配色法・基本の配色技法		
8	フォーシーズン分類	・フォーシーズン分類 ・確認テスト		
9～ 11	パーソナルカラー診断	・似合う色の効果 ・確認テスト		
12～ 13	過去問答練	・過去問答練		
14	後期期末試験	・後期期末試験、解説		
15	過去問答練	・過去問答練、検定直前対策		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・色彩技能パーソナルカラー検定 公式テキストモジュール1 ・新配色カード199a		期末試験 確認テスト 出席率 課題・レポート	50.0% 30.0% 10.0% 10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
トピュスタイルスト		美容学科(昼間課程)／1年	2025／後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	熊野 竜也
授 業 の 概 要				
・イメージどおりのスタイル構成、手順、テクニックを理解する ・外部コンテストに対応できる技術力を養う				
授業終了時の到達目標				
・学生技術大会(アップスタイル部門)出場レベルの技術を習得 ・パーティースタイル、成人式スタイルなどの営業スタイルの習得 ・外部コンテスト入選				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師歴26年、現在サロンチーフとして活躍中イギリスでカットやカラーの修業フランスでのサロン勤務、パリコレのバックステージ等の経験を生かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
トピュスタイルストに必要な技術を理解するために、習った技術の内容に沿って予習しておく				
回	テ ー マ		内 容	
1～2	ロングアップの基礎技術を知る 基本スタイル①		・ブラシの使い方、ゴムの結び方 ・一束結び・編み込み	
3～4	基本スタイル②		・タボの作り方 ・ピン留め ・逆毛の立て方	
5～6	基本スタイル③		・編み込みかけ渡し ・ワンロール	
7～8	基本スタイル④		・針金と球状の発泡スチロールを使った球状のヘアーアップ ・確認テスト	
9～10	基本スタイル(応用)		・全ての技術を使ってフルアップスタイル作り	
11～12	基本スタイル(応用)		・コテの使い方とアレンジ	
13～14	基本スタイル(応用)		・学生技術大会で作るデザインのアップスタイル作り	
15	期末テスト		・期末テスト	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・しんぴよう ・TOMOTOMO ・VIDAL SASSOON WAY ・過去のコンテスト作品集		確認テスト 期末試験 出席率	60.0% 30.0% 10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
アイデザイナー		美容学科(昼間課程)／1年	2025／後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	田中 真由子
授 業 の 概 要				
・衛生に配慮してまつ毛エクステ装着技術を理解する ・アイデザイナーとしての接遇を学習する ・使用用具や商材の正しい使用方法や注意事項を理解する				
授業終了時の到達目標				
・まつ毛エクステを安全に装着できるまでの基礎知識を身に付けることができる ・まつ毛エクステを正確にマネキンに装着。リムービングすることができる ・道具と用具を安全に使用し安心感を与えられるように使用することができる ・ABEまつ毛エクステンション技術者認定試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師としての5年の実務経験 アイデザイナーとして得た知識と技術で実務に生かせる教育を行う		
時間外に必要な学修				
安心安全にまつ毛エクステンションを装着できるように危険な用具をしっかりと認識できるように復習する				
回	テ ー マ		内 容	
1	導入 概論 まつ毛エクステとはなにか		・まつ毛エクステンション概論 ・まつ毛エクステの市場や美容師の内容を確認する	
2～3	まつ毛エクステンションの用具		・道具・用具・材料	
4～5	衛生管理		・病原微生物 ・殺菌、消毒、滅菌、防腐、除菌	
6	保健		・眼に関する知識 ・皮膚に関する知識 ・まつ毛に関する知識	
7	カウンセリング		・カウンセリングに目的 ・注意と説明事項 ・カウンセリングの実際	
8	理論の復習、ABEまつ毛エクステ技術者認定筆記試験		・概論からカウンセリングまでの復習 ・ABEまつ毛エクステ技術者認定筆記試験	
9～11	ABEまつ毛エクステンション技術者認定試験対策		・事前準備 ・テーピング、リムービング、装着	
12	技術の復習		・事前準備 ・テーピング、リムービング、装着	
13	技術確認テスト		・事前準備 ・テーピング、リムービング、装着	
14	ABEまつ毛エクステンション技術者認定試験対策		・事前準備 ・テーピング、リムービング、装着	
15	ABEまつ毛エクステンション技術者認定試験(実技)		ABEまつ毛エクステンション技術者認定試験(実技)	
教科書・教材			評価基準	評価率
・ABEtextbook ・まつ毛エクステンション			実習・実技評価 確認テスト 出席率	50.0% 40.0% 10.0%
				その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ブライダル		美容学科(昼間課程)／2年	2025／通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	選択	新名 瞳
授 業 の 概 要				
・ウエディングシーンにおけるヘアメイク、着付けの習得				
授業終了時の到達目標				
・ブライダルヘアメイクスタイリストとしての技術を習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有	ブライダルヘアメイクとして12年 美容師として5年勤務 これまでの経験を生かし実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
トレンドの学習				
回	テ ー マ		内 容	
1	ブライダルヘアメイクについて		・ブライダルヘアメイクという仕事についての理解	
2～3	洋装花嫁について		・洋装花嫁について実際にデモンストレーションで学ぶ	
4～5	和装花嫁について		・和装花嫁について実際にデモンストレーションで学ぶ	
6～10	ヘアアレンジの基本		・ホットカーラー巻き、一束、ピンニング、逆毛、それらを使ったシニヨンを作る	
11	基本アレンジの確認テスト		・基本のアレンジが習得できているか確認テストの実施	
12～13	メイクアップの基本		・相モデルによるメイクアップ 日常のメイク	
14～15	メイクアップの応用		・相モデルによるトレンドメイクやウエディングシーンにおけるメイクアップの習得	
16～17	メイクアップの確認テスト		・相モデルによるメイクアップの確認テストの実施 課題にあったメイクを仕上げる	
18～21	花嫁着付け		・一般着付けと花嫁着付けの違い ・補正について ・掛下着付け	
22～23	花嫁着付け		・帯結び、はこせこ、懐剣、末広 ・花嫁道具についての理解 ・打掛着付け	
24～25	花嫁着付け		・相モデルによる花嫁着付け	
26～27	花嫁着付け 確認テスト		・花嫁着付けの基礎ができている確認テストの実施	
28	ヘアアレンジ 応用		・シニヨン・ハーフアップの習得	
29	ヘアアレンジ 応用		・編みおろし・ポニーテールの習得	

回	テ ー マ	内 容		
30～ 31	校外学習の準備	・ 相モデルによるリハーサル		
32～ 35	特別授業	・ 校外学習 相モデルによるヘアメイク→ドレス着付け ドレスまたは和装にクイックチェンジ		
36～ 37	新郎着付け	・ ウエディングシーンによる新郎着付け		
38～ 39	新郎着付け	・ 相モデルによる新郎着付け		
40～ 43	ヘアアレンジ	・ シーンにあったヘアアレンジの習得		
44～ 45	まとめテスト	・ ブライダルスタイリストとして実技発表		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ 和装花嫁と列席者の装いバイブル		実習・実技評価 確認テスト 出席率	60.0% 30.0% 10.0%	